

那加二東部



# 福祉だより

第65号

令和8年3月15日発行

編集・発行

各務原市社会福祉協議会

那加二東部地区



## 声かけ気かけ心かけ



那加二東部地区  
社会福祉協議会  
会長 大橋 貴司

令和七年度も残り数週間となりました。日ごろから地区社協にご協力及びご理解を賜り感謝申し上げます。

元日の朝、各務原大橋から初日の出を拝みました。今回で三回目でしたが、多くの市民の皆さんが朝早くそして寒い中で橋の上から日の出を待っていました。初日の出が現れると歓声とともに皆さん優しい笑顔になつて拝んでいました。多くの見知らぬ方々でしたが挨拶も出来て地域の繋がりを肌で感じた経験でした。今年度の主要事業を振り返つてみたいと思います。

七年度では例年実施している行事に加え、子どもまんなかサロン事業の二環として「夏休み宿題の会」を市役所の協力を得て新たに開催することが出来ました。大変に好評であつたことから八年度は夏休み開始と終了の時期に合わせて二回開催したいと思います。

共催行事として自治会連合会主催の「ふれあいウオーキング大会」にブースを出して協力する予定でしたが天候不順によりこれについては中止となりました。

高齢者ふれあい交流会では「落語を楽しむ会」を催し、多くの方に参加いただき大好評でした。

この行事では、感染症予防の観点から簡易な助六寿司を配布しました。参加者の方からは以前のようにお弁当の配布を検討してほしいとの声もありましたが、今しばらくは感染症予防への配慮は続けていくべきかと考えております。

昨年末に子どもまんなかサロン事業の一環として「よく飛ぶ紙飛行機講座」を開催しました。親子連れの参加を得て飛行機づくりに奮闘して頂きました。講師の方にも感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。

コロナ禍で地域の声掛けの一助となればと開始しました「近所畑事業」につきましては、八年度から社協からの予算がつかないことから当初の役割を終えたと判断し実施しません。

配布したプラランターはご利用していただければと思います。今までのご協力に感謝申し上げます。

中止についてご理解をお願いいたします。

永年に渡り皆様にご愛読賜り地区社協の様子をお知らせしてきました「福祉だより」ですが、残念ながら諸事情により今回にて終了となります。

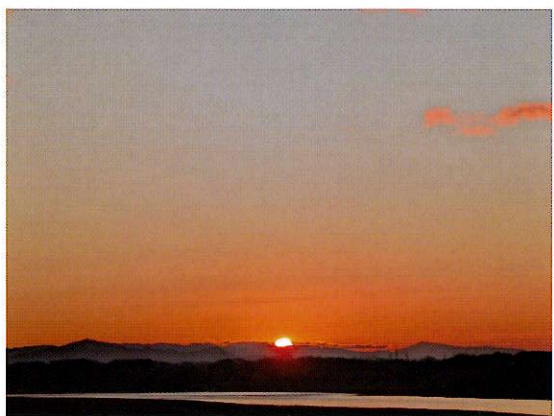
今まで寄稿のご協力ありがとうございました。

誰もが住み慣れた各務原市で安心して暮らしていけるよう、地域の住民がお互いにふれあいを深め、認めあい、つながりあいながら、また支援を必要としている方を地域で見守り支え合う手助けを地区社協の一員として微力ではございますが努力していきたいと思っております。

これからも地区社協の活動を通じて幸せを実感できるまちづくりの実現を目指して努力していく所存です。

来年度もどうぞ皆様のご協力によるしくお願い申し上げます。

最後に「福祉だより」のご愛読ありがとうございます。



## 令和7年度収支決算報告および令和8年度事業計画(案)をお知らせします。

### ■ 令和8年度 事業計画(案)

皆さまのご理解とご協力があって成り立つ事業ばかりです。回覧等で事業のご案内をいたしますので、是非ご参加ください。よろしくお願いいたします。

赤字は予定 日程等は4月以降に決定いたします。

月	日	活動内容
4月	4日(土)	ボランティアハウス事業会計監査 第1回役員会
5月	15日(金)	総会
	未定	近隣ケアグループ全体研修会(市社協)
6月	20日(土)	近隣ケア研修会(地区社協)
	27日(土)	健康づくり教室
7月	25日(土)	夏休み宿題の会
		社協会費・会員募集
8月	1日(土)	第2回役員会
	22日(土)	夏休み宿題の会
9月		敬老の日 粗品配布
10月	4日(日)	親子ふれあいの会
	10日(土)	高齢者ふれあい交流会 赤い羽根共同募金
11月		第58回各務原市社会福祉大会
12月	未定	ボランティアハウス代表者研修会
1月	9日(土)	第3回役員会
3月	6日(土)	第4回役員会
毎月		ボランティアハウス活動

### ■ ボランティアハウス

開催地域	名称
楠町2	楠ひまわりの会
大東町	ボランティアハウス大東
織田町	おだまち会
東新町	東新サロン
桜町1	さくら会
桜町2	桜二いきいきサロン

### ■ 令和7年度 収支決算報告

#### 【収入の部】

(単位：円)

科 目	7年度決算額
1 交付金	257,000
2 メニュー事業助成金	452,526
① 親子ふれあいの会	12,000
② 高齢者ふれあい交流会	78,286
③ 福祉だより発行	78,430
④ ボランティアハウス	225,000
⑤ 福祉座談会	0
⑥ 近隣ケアグループ研修会	8,810
⑦ 福祉の人づくり育成	50,000
⑧ 地区福祉交流会	0
3 雑収入	31,056
小 計	740,582
4 前年度繰越金	1,368,960
合 計	2,109,542

#### 【支出の部】

(単位：円)

科 目	7年度決算額
1 事務費	19,476
① 事務費	19,476
2 会議費	32,100
① 役員会	17,039
② 理事会	0
③ 総会	15,061
3 共通実施事業費	0
① 福祉教育	0
4 メニュー事業費	494,748
① 親子ふれあいの会	84,855
② 高齢者ふれあい交流会	78,286
③ 福祉だより発行	79,310
④ ボランティアハウス	225,000
⑤ 福祉座談会	0
⑥ 近隣ケアグループ研修会	8,810
⑦ 福祉の人づくり育成	18,487
⑧ 地区福祉交流会	0
5 その他の事業費	90,000
① ウォーキング大会補助	50,000
② 青少年育成会助成金	20,000
③ シニアクラブ連合会助成金	20,000
6 地区活動費	30,000
小 計	666,324
7 予備費(次年度繰越金)	1,443,218
合 計	2,109,542



## 門前町三丁目より こんにちは！

門前町三 吉田 淳毅

皆様、元気にお過ごしでしょうか。

昨年、副会長に引き続き自治会長を拝命しまして地域の諸先輩方や会員の皆様にご協力を頂きながら何とかこなしているところです。

当自治会においても、高齢化や共働き、介護や仕事の都合など様々な理由によって役を担える方が減少し、福祉活動はもちろん全ての活動の負担感が増してきています。

また、小学生のスポーツ団体の活動が自治会・子ども会の行事と重なっていることも多く、行事参加が高学年になるにつれ減っていくのも寂しい限りです。

そのような厳しい状況の中、自治会長になって思いますのは地域の親睦が日常の安心感につながっていること地域の人と顔見知りになることが気持ちのよい最大の福祉活動なのではないかという事です。順番で回ってきた班長や組長あるいはその他の役をこなしていく中で近所の方と顔見

知りとなりつながりが生まれていくように思います。無駄なように思えることでも何もコミュニケーションがなければ疑心暗鬼になってしまうのではないのでしょうか。

自治会をきっかけとした地域の近隣ケアグループの活動、日本の文化の礎ともいえる神社とのつながりも地域の安心を生んでいるのではないかと思います。

春の子供神輿担ぎ、年二回の花壇の花植え、年末の防災訓練を兼ねた三世代ふれあい芋煮会など、地域の親睦のため時代に合わせて負担を減らし工夫して自治会活動を続けていければ良いなと思っています。

## 春のお神輿 「子供会ちびっ子神輿」

門前町四 山口 紀文

当自治会子供会のご尽力により子供神輿で町内を練り歩きました。お神輿の飾りつけや法被お囃子の用意など準備に協力された皆様にお礼申し上げます。

雨の天気予報で前日まで気が休まりませんが、当日は雨も上がり予定通り催すことができました。町内を練り歩く元気な子供たちの姿を披露できました。



大きな掛け声とお囃子の音で多くの家より表に出て声をかけていただきました。ご祝儀をいただく事もあり大いに盛り上がりました。町内の皆様も元気な子供たち一行を見てにこやかに手を振り元気をもらっているようでした。

最近子供たちも忙しく平素は元気な様子を見る機会も少なくなつたように思います。この機会に全世代の顔の見えるふれあい交流ができ元気を分かち合うことができました。

練り歩きにより自治会活動の活性化にもつながったと思っています。

### 高齢者ふれあい交流会 「落語を楽しむ会」

十月十日、「高齢者ふれあい交流会」として、昨年好評いただいた落語家『桂福若さん』をお招きし、たっぷり二時間の「落語を楽しむ会」を開催しました。

開演前から会場は楽しみにしていただいていた七十名をこす参加者の皆さんで埋まり盛会となりました。

福若さんは古典落語も含め、いろんなお話しを汗だくで一所懸命してください、会場いっぱい笑い声とともに楽しい時間を過ごすことができました。

交流会を終えて帰られる皆さんからは「おもしろかったです」「また楽しいものを企画してください」との声を掛けていただきました。



### こどもまんなかサロン 「よく飛ぶ紙飛行機講座」

こどもまんなかサロン事業で「夏休みの宿題の会」につづき、冬休みは「かかみがはら紙飛行機クラブ」の講師の方に来ていただき「よく飛ぶ紙飛行機作り」を行いました。

親子連れで参加され、子どもだけでは少し作業が難しい部分は講師の方や親さんが手伝い、子どもより親さんの方が熱中して作られている姿もあり、完成した紙飛行機を親子で和気あいあい飛ばして遊びました。

講師の方から戸外で飛ばすコツも聞き、講座終了後には「公園で思いっきり飛ばして来よう」と出て行かれるかたもおられました。

